

崇城大生が飾り付け

鶴屋

熊本市中央区の鶴屋百貨店に、崇城大の学生がバレンタインデー向けに装飾したショーウィンドーが今年もお目見えし、複数の赤いハートが街角に彩りを添えている。2月14日まで。

同店と崇城大芸術学部デザイン学科が連携し、この時季に取り組んでおり、7回目。

県道に面したショーウィンドー（縦2・2メートル、横4・5メートル）内に、LEDライトを入れたアクリル製の赤いハートを17個

バレンタイン♡で演出

設置。中に散りばめた小さなハートの形が角度によって違って見えるように工夫を凝らした。

デザインは同科の学生8人で考え、昨年秋から準備を進めてきた。愛情や友情、感謝など、普段は言葉にしない気持ちを伝えることの大切さを表現したといい、リーダーの原史紘さん(20)は「大切な人に気持ちを伝えるきっかけになれば」と話していた。

(澤本麻里子)



崇城大の学生たちが制作したバレンタイン向けのショーウィンドー
＝熊本市中央区の鶴屋百貨店